



地域医療連携だより

H20.10
第19号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111 (大代表)
TEL.0798-45-6001 (地域医療・総合相談センター)

病院長 山村 武平

副院長 島 博 基 (経費削減担当)

谷 澤 隆 邦 (診療支援担当)

太 城 力 良 (安全管理担当)

山 田 繁 代 (療養環境担当)

地域医療・総合相談センター長

難 波 光 義

理 念

兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

基本方針

- 患者の立場に立った医療の実践
- 人間性豊かな、優れた医療人の育成
- 高度で、先進的な医療や医学研究の推進
- 健康増進活動による保健、福祉の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携

肝疾患診療連携拠点病院に指定

兵庫県の肝疾患診療連携拠点病院の指定を受けました。



内科 肝・胆・膵科
診療部長 西 口 修 平

平成20年4月に、兵庫医科大学病院が兵庫県における唯一の肝疾患診療連携拠点病院に選定されました。

本学には、肝臓学会の総会評議員5名、西部会評議員9名、専門医が16名在籍し、県下で最も肝臓専門医が多いことや、内科、外科、放射線科をはじめとする多くの診療科が肝疾患の専門医療を行えることなどを評価頂けたものです。

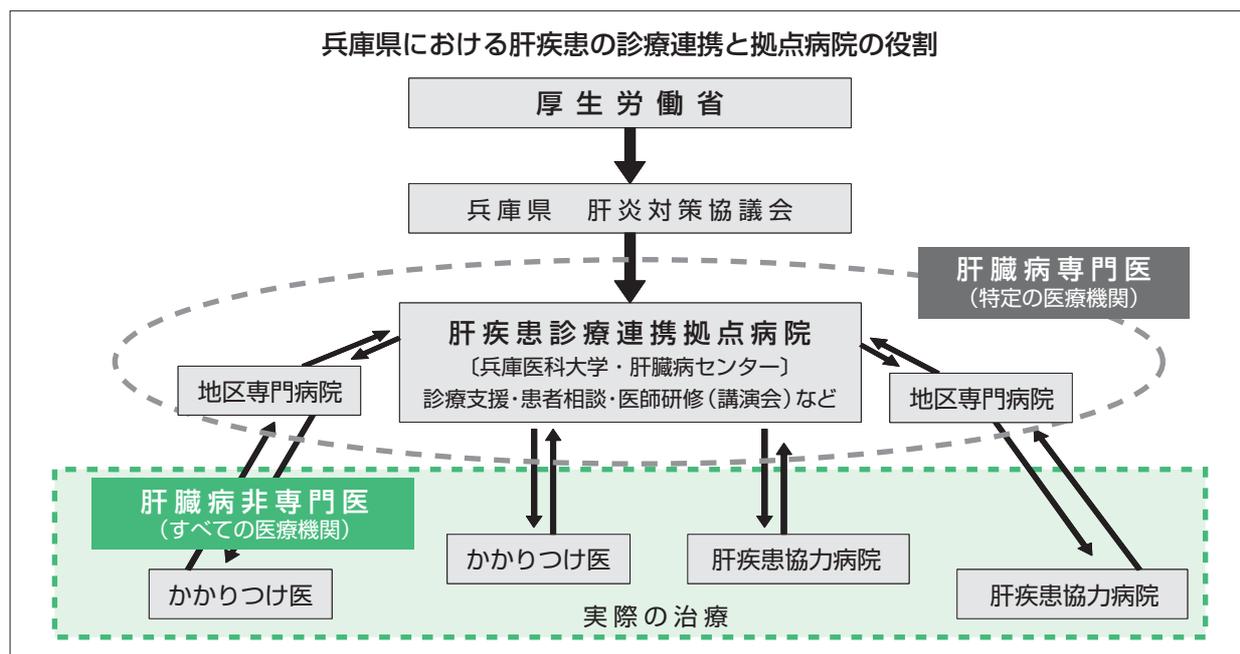
肝疾患診療連携拠点病院とは厚生労働省主導の下に、各都道府県に原則1箇所認定される施設であり、県内の肝炎対策の要として肝炎の治療水準の向上に寄与することが求められています。この事業の一環として、本年4月からインターフェロン治療の助成事業もスタートしました。この背景には、肝炎患者に従来からの肝庇護剤による治療に終始するのではなく、根本的な治療であるインターフェロン療法を推奨し、将来の肝発がんを抑制しようとする意図があります。我々が初めてLancetにインターフェロンの肝発がん抑制作用を報告して以来すでに17年が経過し、やっと国を挙げての事業になったことにも感慨深いものがあります。

さて、拠点病院としての本学の役割は、①肝疾患全般にわたる高度な診療を提供すること、②県内の20箇所の肝臓病専門医療機関とともに、兵庫県の肝疾患診療ネットワークを確立すること、③院内に

患者相談支援センターを設立し、医療相談に応じること、④県下の肝疾患医療従事者に対するセミナーや実技研修を行うこと、などが義務づけられています。

本学におきましては、幸いなことに内科・外科・放射線科を中心に多数の肝臓専門医を擁しておりますので、当該医局間の診療連携を強化すればこれらのニーズに対応可能です。その具現化のために、肝疾患に関する最新医療の提供を目指した「兵庫医科大学肝臓病センター（仮称）」の設立を予定しています。

国や県のみならず多くの先生方からのご要望に的確にお応えするために、大学を挙げた取り組みを行って参りますので、ご活用賜れば幸いです。



セカンドオピニオン外来のご案内

● 消化器内科（下部消化管科） ●

平成18年6月より実施しておりますセカンドオピニオン外来も開始から2年が経過しました。（表2）のとおり、ご依頼いただく件数も初年度から大きく増加しており、セカンドオピニオン外来が世間一般に広く定着したように感じられます。

この度、当院ではセカンドオピニオン外来の更なる充実を目的とし、下部消化管科（消化器内科）で同外来を開設することとなりましたのでご案内申し上げます。

（表1）

<p>【担当医】 教授 松本 譽之</p> <p>【得意とする分野】 下部消化管疾患（特に炎症性腸疾患）</p>
--

（表2）

<p>平成18年度：56件</p> <p>平成19年度：88件</p> <p>※平成18年度は6月からの集計です。</p>

詳細につきましては、地域医療・総合相談センターへお問い合わせください。

治療最前線



● 救命救急センター ●

文責

救命救急センター

助教(病棟医長) 上田 敬博

(連絡先)

医局 TEL : 0798-45-6514

救命救急センターはセンター長の丸川征四郎教授のもと、13名の専従医、他科レジデント、研究生、臨床研修医により構成されています。

24時間体制で救急隊による重症患者の直接搬入や他の医療機関からの重症患者の受け入れを行っており、阪神間の3次救命救急を担っています。

搬送の内訳は外傷：内因性疾患が約4：6の割合で、外傷は交通事故や労災による多発外傷、頸椎損傷、重症熱傷、刺創、銃創や薬物中毒を、内因性疾患は脳卒中、消化管出血、循環器疾患、重症呼吸器疾患、肝不全、重症急性膵炎や重症感染症などの治療にあたっています。

心肺機能停止患者に対して適応患者と判断した場合にはPCPS（経皮的人工心肺装置）を導入し蘇生率の向上をめざしています。なお、センター内には7床のICUと21床のベッドがあり、ICUでは蘇生後や重症頭部外傷患者に対して低体温療法や血液浄化療法などの高度先端の医療を行っています。

また、院外活動としては地域医療機関の方にAED（半自動除細動器）の普及や心肺蘇生法（BLS）の指導を行っています。さらに、当院には国内の大規模災害時に出勤し災害救助活動を行う日本DMATが2チーム編成されています。

重症患者に関しては可能な限り受け入れるようにしていますので集中治療管理から離脱できた場合や軽快した場合は院内転科や紹介元医療機関への再転院のご協力をお願いしています。

その他、治療方針や応急処置に対するお問い合わせにも対応しています。

開業医の先生や他医療機関の先生方で救急医療に興味のある医師に対して当センターでの短期、長期（半日・終日・週末のみの研修など）研修を随時募集しております。



写真上：救急患者への処置を行っている様子
写真右：新生児を対象としたBLS講義の様子

地域医療懇談会の開催報告



平成20年6月12日(木)午後6時より医師会及び地域医療機関との連携を深めるため、「第8回地域医療懇談会」をホテルニューアルカニック(尼崎市)で開催致しました。

今回の特別講演は、兵庫県健康福祉部企画少子局健康福祉政策課 寺谷進課長による「兵庫県保健医療計画の目指すもの」及び兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター西播磨病院リハビリテーション科医長 逢坂悟郎先生による「脳卒中地域連携パスの実際」という、今話題の2つのテーマをご講演いただきました。

演いただきました。

話題のテーマであったということもあり、今回は例年を大きく上回る146名のご出席をいただきました。

また、今回は初めて看護師やソーシャルワーカーの皆さんにもご出席いただき、大いに地域連携を深めることができました。

今後も年1回(毎年6月頃)開催する予定ですので、ご出席くださるよう宜しくお願い致します。



ヨード造影検査に係るお願い

兵庫医科大学病院における ヨード造影検査に係る運用について

問い合わせ先：医療安全管理部

TEL：0798-45-6710

FAX：0798-41-2814

この度当院はヨード造影検査を実施するにあたり患者さんの安全性を考慮し、下記のように取り決めを致しましたので、ご理解・ご協力を受け賜りますようお願い申し上げます。

《取り決め内容》

- ①ヨード造影検査前3ヶ月以内に血清クレアチニン値を測定します。
- ②ヨード造影検査前2日間と検査後2日間はビグアライド薬を一時中止致します。
- ③血清クレアチニン値が1.5以上の場合、ビグアライド薬を中止していない場合は原則としてヨード造影検査を行いません。

《お願い》

つきましては、当院に患者さんをご紹介していただく前に、血清クレアチニン検査及びビグアライド薬の服用に関する指示出しを実施していただければ幸いです。

◆編集・発行

平成20年10月1日

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター 〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL 0798-45-6111 (大代表) 0798-45-6001 (地域医療・総合相談センター)

FAX 0798-45-6002 (紹介予約専用)

E-mail: chiiki@hyo-med.ac.jp <http://www.hyo-med.ac.jp> (ホームページアドレス)

